

健全な水循環に関する普及啓発、広報、教育

内閣官房 水循環政策本部事務局
令和3年3月



水循環ロゴマーク

「水の日・水の週間」行事について

水を考えるつどい

- 内容:【第1部】
沖先生の「水循環入門講座」
全日本中学生水の作文コンクール最優秀作文朗読
- 【第2部】
パネルディスカッション
～新たな水循環基本計画の始動～

○ 主催:水循環政策本部、国土交通省、水の週間実行委員会 等

○ 配信:令和2年11月7日(土)～
You Tube (国交省 MLIT channel)にて公開



※ 新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、「水の週間」での集客イベントは見合わせ、Web配信としました

第42回全日本中学生水の作文コンクール

- 「水について考える」をテーマに全国の中学生及び海外日本人学校在学の日本人中学生を対象に募集 (応募数:9,444編)
- 最優秀賞(内閣総理大臣賞)受賞者は、「水を考えるつどい」(Web配信)中で、朗読映像を配信
- 主催:水循環政策本部、国土交通省、都道府県



「水の日」(8/1) 関連行事の公表

- 内閣官房及び国土交通省のHPにおいて地方公共団体やその他関係団体が主催する見学イベントや参加型イベント等の「水の日(8月1日)」関連行事をポータルサイトで紹介
- 令和2年度の関連行事数:66行事(27都道府県)
※ 例年250程度の関連行事が行われているが、今年度は新型コロナウイルスの影響で少なくなっている。



「健全な水循環」
ロゴマーク

国・地方公共団体等における取組例

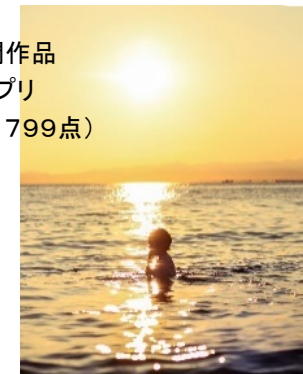
【水とのふれあいフォトコンテスト】

- 「水とのふれあい」をテーマに写真作品を募集
- 主催:水の週間実行委員会

カラープリント部門
国土交通大臣賞
(応募数:2,621点)



SNS部門作品
グランプリ
(応募数:1,799点)



【上下流交流活動】

- ダム水源地域等の振興等に資する活動を推進



各地の活動の様子

「水の日・水の週間」行事について

水を考えるつどい (令和2年11月7日) YouTube (国交省 MLIT channel) 公開

第一部

◆沖先生の「水循環入門講座」

私たちが日々の暮らしの中で利用する水と水循環の関係、天気が水循環に与える影響など、専門家の方々の解説を交え、身近な存在である「水」について学ぶ「入門講座」

【出演者】

沖 大幹 氏／東京大学大学院工学系研究科教授
 南 利幸 氏／気象キャスター(NHK「おはよう日本」など)
 中村 真優 氏／2020ミス日本「水の天使」



第1部の様子



沖氏



南氏



中村氏

◆第42回全日本中学生水の作文コンクール朗読

応募総数 9,444 編

最優秀賞1名、優秀賞8名に賞状を授与

(内閣総理大臣賞、厚生労働大臣賞、農林水産大臣賞、
 経済産業大臣賞、国土交通大臣賞、環境大臣賞、
 水の週間実行委員会会長賞、水資源機構理事長賞、
 全日本中学校長会会長賞)

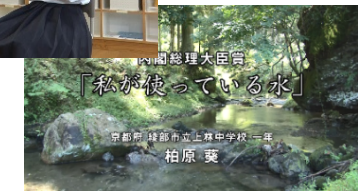


最優秀賞受賞者の所属する中学校主催で行われた表彰式
 (左から、柏原葵さん、綾部市立上林中学校塩尻校長)

最優秀賞(内閣総理大臣賞)受賞者
 (京都府 綾部市立上林中学校 1年 柏原 葵さん)



受賞者の作文朗読



第二部

◆パネルディスカッション ～新たな水循環基本計画の始動～

令和2年6月に改定された新たな「水循環基本計画」で重点的に取り組む3本柱を中心に、今後の水循環施策の方向性を展望

【出演者】

沖 大幹 氏／東京大学大学院工学系研究科 教授
 指出 一正 氏／株式会社sotokoto online 代表取締役
 武山 絵美 氏／愛媛大学大学院農学研究科 教授
 立川 康人 氏／京都大学大学院工学研究科 教授



第2部の様子



沖氏



武山氏



指出氏

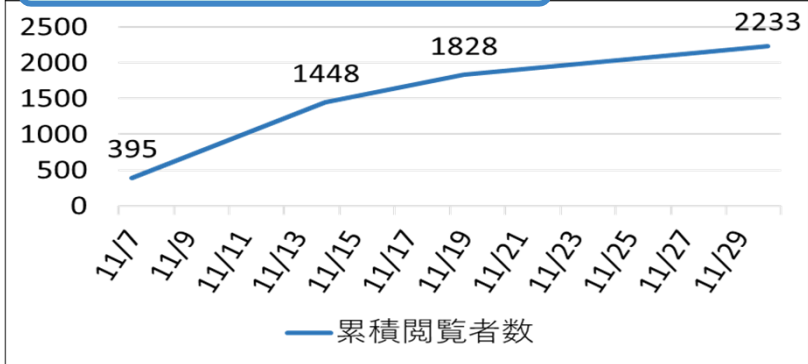


立川氏

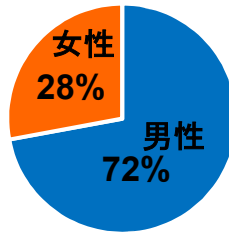
令和2年度「水を考えるつどい」開催結果概要

- ・閲覧回数：2,233回（令和2年11月30日現在） ※令和元年度来場者数：310名
- ・アンケート回答数：43

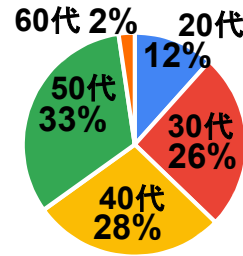
閲覧推移（令和2年11月30日現在）



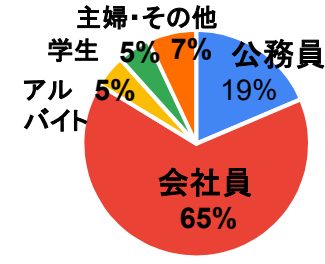
性別



年代

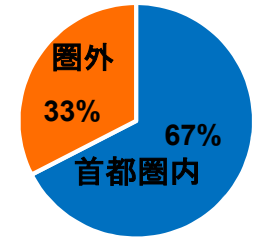


職業



令和元年は、公務員 56.6%、会社員 30.3%、その他 13.1%

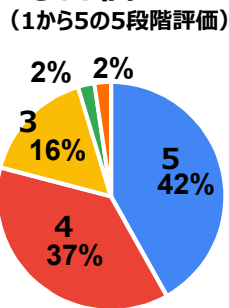
視聴地域



圏外：北海道、宮城、岩手、三重、富山、大阪、愛媛、香川、福岡

第1部

○評価



○感想・気づき

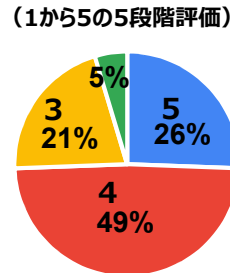
- ・水循環という難しい話題がわかりやすく説明されていて、非常によかった
- ・座談会形式が良かった
- ・視聴者目線で噛み砕いた説明をされたのが大変聞きやすかった
- ・作文朗読が、特に印象に残った。水について幅広く真剣に考えていることに感銘を受けた
- ・様々な世代に対してわかりやすい内容だった



第1部

第2部

○評価



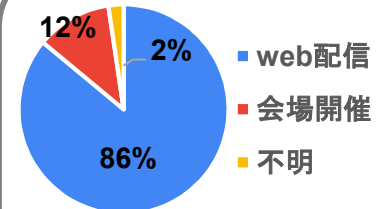
○感想・気づき

- ・基本計画が、水道、下水道、河川、農業林業、まちづくり等、関係者が一丸となって水循環を考えるきっかけとなっていることがわかった
- ・普及啓発や教育は非常に重要
- ・安全な生活をおくるためには、河川・インフラ整備、農村と都市の治水・利水の関係、流域全体の自治体による連携が必要



第2部

次回開催方法の希望



- ・遠方でも参加が可能
- ・休日等好きなときに視聴できる
- ・繰り返し、戻したり視聴できる
- ・移動費、移動時間の負担がない
- ・双方向でなければ配信で充分

「水の日・水の週間」の普及啓発の取組

ブルーライトアップ

8月1日「水の日」に、全国各地の施設(10箇所)が、「水」を連想させるブルーにライトアップを実施

- ① さっぽろテレビ塔(北海道札幌市)
- ② マイクロ無線鉄塔(岩手県盛岡市)
- ③ 東京ビッグサイト(東京都江東区)
- ④ アサヒグループ本社ビル(東京都墨田区)
- ⑤ ゆりかもめ新橋駅(東京都港区)
- ⑥ フジテレビジョン(東京都港区)
- ⑦ レインボーブリッジ(東京都港区)
- ⑧ 株式会社乃村工藝社(東京都港区)
- ⑨ モザイク大観覧車(兵庫県神戸市)
- ⑩ 別府タワー(大分県別府市)



ライトアップの様子

ミス日本「水の天使」によるPR

2020ミス日本「水の天使」の中村真優さんが、「水の日」を前に赤羽国土交通大臣を表敬訪問



水の天使が国土交通大臣を訪問

「水の日(8月1日)」の認知度向上を図るためメディアキャラバンを実施



マスコミ取材の様子

「水の日」ポスター作成

「水の日」のポスターに幅広い年代から認知度の高いポケットモンスターのキャラクター「シャワーズ」を採用、配布先を拡大し「水の日」の認知度を向上



令和2年度水の日ポスター



霞ヶ関駅



東麻布商店街

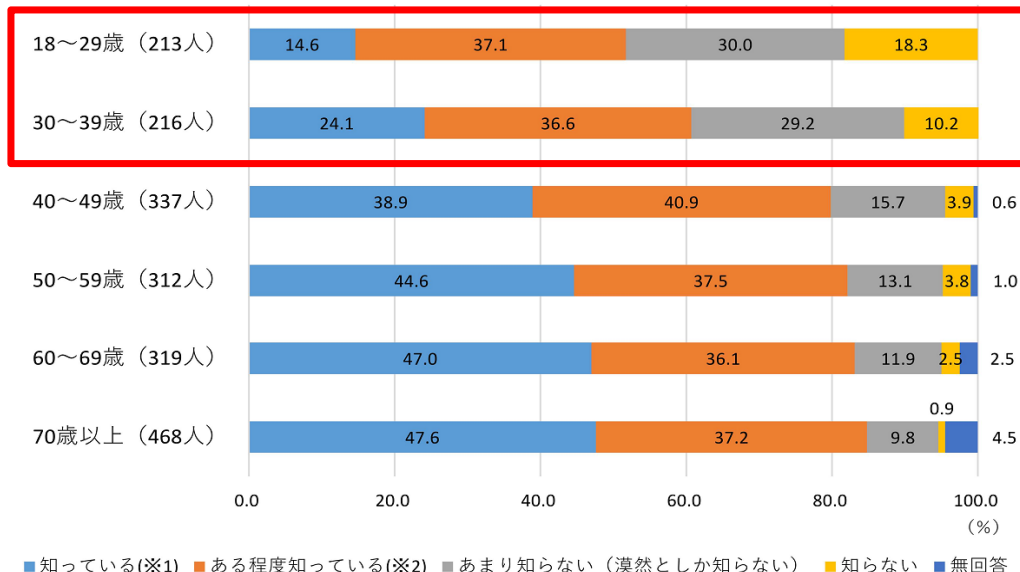
Twitter等SNSによる情報発信



令和2年7月1日付 国交省公式Twitter

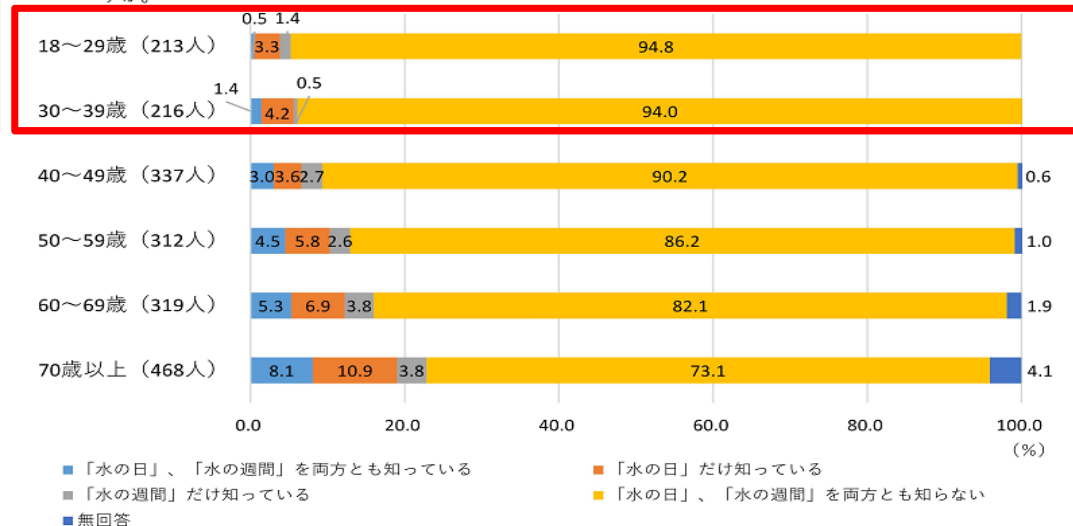
令和2年度水循環に関する世論調査

あなたの使っている水道水の水源は何か知っていますか。



※1.具体的な河川や湖の名などまで知っている
 ※2.河川や湖などであることは知っている

あなたは、8月1日が「水の日」、この日から1週間が「水の週間」であることを知っていますか。



**特に若い世代の水に対する関心が低い傾向
 幅広い世代の国民の水に関する意識の醸成等の推進が必要**

今後の新たな取組

引き続き、シャワーズを活用した情報発信

「水の日」賛同企業の
ブルーライトアップ活動の拡充

TwitterやメルマガなどSNSの活用

日本の水を紹介するリーフレット
(日英、他2各国語)の作成・配布

動画コンテンツの制作

水の週間実行委員会のHPの充実

文部科学省と連携による教育の推進

R1 小学生向け教材
 R2 中学生向け教材



第43回
全日本中学生
水の作文コンクール
ポスター